

『心肥大と心拡大』

吉良内科循環器クリニック 院長 吉良 哲也



「心臓が大きいですね」あるいは「心肥大があります」と健康診断や病院で言われたことはないでしょうか。「心臓が大きい」という言葉には「心肥大」と「心拡大」という2つの意味合いがあると考えられますが、心肥大と心拡大は時に混同して用いられていることがあります。

「心肥大」とは心臓の筋肉が肥大して厚くなった状態を意味し、心電図でも左室肥大や右室肥大といった判定が行われます。「心拡大」とは胸部レントゲン検査での心臓の陰影が大きく見える、すなわち心臓が拡大した状態を意味します。そのため胸部レントゲンで心拡大を判定できても、心肥大の判定はできませんし、心電図では心肥大の判定はできても、心拡大の判定はできません。心臓超音波検査（エコー検査）を併用することで心肥大、心拡大を正確に診断することができます。心電図で心肥大と判定されても、心エコー検査を行ってみると実際には肥大がないと判断されることもあります。

心肥大を来す原因としてはスポーツマン心臓や高血圧、弁膜症、肥大型心筋症等があります。心拡大は心臓の働きが弱る全ての病気で起こりえますが、心臓そのものは正常でも心臓を包む袋（心のう）に水がたまって心拡大となります。

「心臓が大きい」と言われたならば、心肥大と心拡大のいずれかが本当にあるのかを明らかにし、その原因をつきとめ、病状にあった治療を選択する必要があります。

吉良内科循環器クリニック 大分市大字角子原 870 TEL097-522-3000